



第406回例会

1967.6.13 (火) 小雨

例会場 鶴岡市本町二丁目 ひ さ ご や (2) 0707・2838番

事務所 鶴岡市馬場町十日町口 商工会議所内 (2) 5775番

A BETTER WORLD THROUGH ROTARY (ロータリーでより良き世界を)

出席報告

本日の出席	会員数	61名
	出席数	47名
	出席率	77.05%
前回の出席	前回出席率	65.57%
	修正出席数	51名
	確定出席率	83.61%

欠席者 荒明君、長谷川君、飯白君、五十嵐(三)君、五十嵐(一)君、海東君、金井君、三井(賢)君、齋藤(栄)君、菅原君、佐藤(忠)君、高橋君、辻君

メッセージ

荒明君、三井(徹)君、黒谷君、鈴木(昭)君、岩網君、大竹君、佐藤(昇)君、鷺田君—鶴岡西RC
林君—東京東RC
八丁目君—仙台RC
小花君—外国

ヒジター

栗本安基君—鶴岡西RC
豊川孝一君—盛岡RC
沢田幸男君—仙台東RC
弦巻作治君—酒田RC

ソング

我等の生業 リーダー 三井(健)君

会長報告

創立満8周年を迎えて

会長 早坂源四郎君

当クラブも満8年を迎え、当時パストカバナー特別代

表の安斎先生始め、スポンサークラブ(山形ロータリークラブ)の御指導と御援助により33名のチャーターメンバーで発足し、その後歴代会長はじめ、会員の皆様の熱心な活動と御協力により年毎に拡大され、現在61名の会員になっております。

更に鶴岡西クラブの誕生、本年は西高等学校にインターアクトクラブが誕生し、友愛と奉仕を旨とし益々ロータリー活動が拡大、発展され多数の会員の出席のもとに祝賀の例会を催すことは本当に目出度い限りでございます。

又、当クラブの記念事業として5年以上の皆出席の会員に感謝状と記念品を贈呈致します。

姉妹クラブ、ニューヴランズウィックのRCでは、日本人が埋葬されている日本人墓地の清掃を会員がやっております。又、クラブの中に日本人墓地委員会を編成し日本人の氏名、出身別、年令を記載した名簿又会員が清掃している委員会のカラー写真を一冊にした記念帳が送られて来ました。国際奉仕委員より御礼の言葉と感謝の意を表してもらいたい。

☑ ニースR.I年次大会に参加して

小花盛雄君

去る5月12日鶴岡を出発、大会はフランスのニースで5月21日から25日迄行なわれました。参加人員も多くニースを中心としたホストクラブ(約10クラブ)が準備されたようです。

ニースの附近一帯をコートダジュールと云いますが意味は「青の海岸」と云う事だそうです。一番北のイタリア国境近いサン・レモから私たちの宿泊地フリジャスまで150km位の海岸全部がリゾートの地区として全ヨーロッパやアメリカからも多く集まってくる行楽地でありませぬ。この海岸線一帯(約鶴岡～仙台間位の処)には隙間のない程ホテルが建ち並んでいます。大会宿泊委員会で

は苦勞されたでしょうが私共は南の端のフリージャスでニースから70km余離れた不便な処でした。宿泊名簿を見た時兼子ガバナーと一緒にしたので喜んでましたが、何しろニースから弾丸道路を行けども行けども仲々着かない。やっと着いて今度はホテルを探がすのに一苦勞、ホテルは『オアシス』と云う小さなホテルで少々不満ではあったが東京大会の経験もありますので我慢しました。日本からは6つの班が行き、内3つは同宿でしたが1つの班はたまりかねて2日程前出た様でした。

大会場のニースまで片道2時間半、例えば9時から始まる場合朝4時頃起きて出発、帰日も夜の12時か1時頃になってしまう始末です。仲々思う様に各セッションにも出れない実情でしたが、今回の主目的であるニース大会に於ける東ヶ崎R・I会長エレクトが選ばれる席には是非参加したいと思い出席したわけです。

会場はかなり立派な広いホールであり、日本語の同時通訳受信設備で聞く事も出来ました。東ヶ崎さんも緊張した中にも晴やかな面持で我々日本人としても非常に肩身が広い気が致しました。又周囲の外人も我々日本人席に向って拍手してくれました。又エバンス会長と東ヶ崎さんが壇上で抱き合せて喜びを分かち合う情景等全く感激の一瞬でした。それからせめて職業別協議会に出ようと思ったのですが会場のインフォメーションと輸送関係がうまく行かず出席出来ずにしまい残念でした。

次にガーデンパーティーの様ですがニースから少し離れた処のシミーズで古蹟の深い庭園でございました。座るにも椅子も余りなく岩肌を腰に掛けながらショーを見る始末…… 食券で色々のコーナーで戴く様になってますが30分か1時間も列に並んでないとももらえないという状態でした。

又、あちこちでショーやらアトラクションがあったようですが、とにかく誠に惨澹たる光景でしたがみなさんよく辛棒されたようです。それからアトラクションのパレードで『ニースの夜』がありましたが、これはすばらしいもので美しい生花を飾り、電飾に輝やく山車、それにフランスの美女が乗り、沿道の観衆に花をなげながら通る。それに鼓笛隊やパトنگール、軍楽隊、騎兵隊がついてました。ただしこれは我々の大会の為にわざわざやったものではなく毎年やっている行事でそれに我々の大会を合せたものと思われまふ。

以上のような具合で大会は終わりパンアメリカン機でポルトガルへ廻るつもりでいましたが、飛行機がエンジントラブルでパリで修理中のため遅れるということになり、レストランで休んでいた処そこで帰国するアメリカ人の多くと合い打ちとけた話が出来ましたが、さすがのアメリカ人も、このフランスのやり方にはあきれ果てたと云う表情でこぼしてました。その時の話で東京のコンペーションは何処の国よりもすばらしかったと云う事でした。

6時間位遅れてバスで飛行場に向かいました、丁度バスの中でアメリカのオザーク大学々長で私共がマイアミに行った時同行した耳鼻科の池松君と非常に親しくしている方で、その学校には日本から毎年5名程の留学生もいっているとの事でした。

ニース大会を振返って見ますと遠方のお客様を何千人とお迎えし会合を持つ事は本当に御苦勞な事であり、余程努力しなければ折角のおもてなしかかえて実を結ばないと云う結果になると考えさせられました。

コンペーションは毎年型通りのことをやりますので何も申上げることはありませんが、東ヶ崎さんが日本では初めてのR・I会長が選ばれたという感激的な面が非常に印象的であったと思います。

その日の夜は東ヶ崎新会長エレクトの御招待でニース大会参加の全日本ロータリアンがニース第一の豪華ホテル、ネグレスコの晩餐会に出席して東ヶ崎さんの輝かしい榮譽を祝福しました。

○創立8周年記念にこの方が表彰されました

8年皆出席	小花君
7年皆出席	張君
7年皆出席	三井(徹)君
7年皆出席	鈴木(善)君
7年皆出席	安藤君
6年皆出席	三浦君
6年皆出席	鷲田君
6年皆出席	海東君
6年皆出席	嶺岸君
5年皆出席	阿部(公)君
5年皆出席	佐藤(昇)君

☑ 幹事報告 笹原桂一君

○第368地区年次大会 10月38日、29日

ホストクラブ 尼ヶ崎RC 尼ヶ崎労働福祉会館

○春季親善ゴルフ大会

酒田、鶴岡、鶴岡西各RC 6月19日(月)
蔵王RC

○新役員通知 仙台北RC

○例会変更

能代RC 6月16日～6月18日 13時 家族会

山形RC 6月14日 6時より

鱈ヶ沢RC 6月18日～6月22日

○会報到着 鹿児島西RC

スマイル 三井(健)君 デラックスな車庫が完成

献立

てんぷら-茄子、えび 刺身-大魚 味噌汁-えんどう豆